



そして歌の道は続いた

# 「十六夜日記」阿仏尼

鎌倉時代、ひとりの女性が、

息子の諸相を抱えて京都から鎌倉へ…。

女流歌人・阿仏尼が記した『十六夜日記』は、旅の情景や揺れる心情を和歌とともに綴った名作です。強く生きる女性の姿が現代にも響く、感動の古典文学と一緒に味わってみませんか？

講師 大江和子氏

元・高等学校教諭

高向公民館クラブ「小桜会」講師

◆対象 市内在住・在勤・在学の方

◆ところ 高向公民館

◆定員 20名

◆参加費 無料

◆持ち物 筆記用具・飲み物

◆申込 10月3日(金)9時～

(公民館窓口・電話・ネットにて受付。)

※先着順にて受け付けますが、2回連続受講される方を優先します。

WEB申込は  
コチラから。



令和7年10/25・11/1

【土】10:00-11:10 (全2回)



絵：神坂雪佳「秋の花」1909